

川中先生のブログ

イクメン、育MEN

2014年05月20日 06時18分00秒

テーマ：日常



昔、金沢の繁華街武蔵が辻に名鉄丸越デパートと言うのがありました。

今は、めいてつ・エムザと言う商業施設になっているようです。金沢の大学病院で研修していた頃、たまに休日に昼食がてら、このデパートや近くの近江町市場で買い物に行くのが楽しみでした。

ある日曜日、朝、病院でひと仕事して、長男と妻、妻が背中に長女を背負って、四人でこのデパートに行きましたが、長男がはぐれてしまいました。二人で分かれて手分けして長男を捜していたら、『迷子のお知らせです、、、、、、』の場内放送。

身なりからしてまさしく、うちの長男です。放送されていた場所に行って、長男が私を見て、『お父さん！！』と言って泣いて抱きついてくるかと思ったら、私を見てもポカ～ンとして無反応。係の方も疑問を持ったのかイブカシイ表情。そこへ電話が掛ってきて『お母さんもこちらに来られるようですから、しばらくお待ちください。』

私、まるで係の人に怪しい奴と思われたようで、チョット気分を害した経験があります。

医者になって仕事で毎日帰宅が遅く、外出する時もポケットベル持って一年中拘束状態でしたから、子どもとゆっくり遊んでゆったりできなかったので、ナツイテいなかったんでしょうね。

その当時、妻も看護婦として大学病院に勤めていて共稼ぎでしたが、未だに『私がどんなに忙しくてもあんたは子育てを手伝ってくれなかった。』と恨み言を言われます。

私も決して遊んでいたわけではないのです。男は育児よりも仕事優先の時代でしたから、分かってはいても、自分の仕事を優先して育児に協力できませんでした。最近では県知事自身がイクメンをウタッテいますから、良い時代になったもんです。妻はことある度に『私がどんなに忙しくてもあんたは子育てを手伝

ってくれなかった。』を繰り返しますが、昔には戻れないので、、、、こんなジ
ジイになってから、そんなに言われても、、、今さら、、、、